

5

いろいろな ひきざん ②

□ がつ □ にち

1 いけに 4 羽の あひると 6 羽の かもが います。

1 あひると かもは あわせて なんわ いるでしょう。



しき $4 + 6 = 10$
 答え 10 羽

2 あひると かもは、どちらが なんわ おおいでしょう。

ちがいは なんわ
 しき $6 - 4 = 2$
 答え かもが 2 羽おおい。

3 2 羽の かもが いけの そとに でした。いけの なかに のこって いる かもは なんわ でしょう。

のこりは なんわ
 しき $6 - 2 = 4$
 答え 4 羽

おうちのかたへ 今回の学習のねらい

- ・ひき算の場面をとらえ、式を立てて答えを求めることができるようになる。
- ・発展学習として、「過条件」の文章題に挑戦する。



2 あかい くるまが 10 だい、しろい くるまが 6 だい、くろい くるまが 9 だい あります。



1 あかい くるまは しろい くるまより なんだい おおいでしょう。

しき $10 - 6 = 4$
 答え 4 だい

2 しろい くるまと くろい くるまは、どちらが なんだい おおいでしょう。

しき $9 - 6 = 3$
 答え くろいくるまが 3 だいおおい。

3 けいさんを しましょう。

1 $5 - 1 = 4$ 2 $10 - 4 = 6$
 3 $9 - 2 = 7$ 4 $7 - 7 = 0$

今回の学習のねらい

- ・ひき算の場面をとらえ、式を立てて答えを求めることができるようになる。
- ・発展学習として、「過条件」の文章題に挑戦する。

アドバイスと支援のポイント

1 では、「池にいるあひるとかも」という同一の設定の中から、いろいろな問題が出題されるというおもしろさを感じられるとよいでしょう。②は「どちらが何羽多いか」が問われている場面ですので、「2 羽」というだけの答えでは不完全です。「『違いは何羽?』と聞かれている場合なら、『2 羽』で正解だよ。」と声をかけてあげたうえで、ここでの正しい答え方を教えてあげましょう。

2 は「過条件」の問題です。問題文の中に出てきている 2 つの数をたすか、ひくかすれば答えが出たこれまでの問題と違い、ここでは、それぞれの問いに答えるために必要な情報を自ら選んで式を立てなければなりません。読解力を要する問題ですので、**お子さまが 2 の問題に正解できた場合には、大いにほめてあげましょう。**

発展学習の手引き

文章題をもっと練習したい場合には、以下のような問題に挑戦させてもよいでしょう。ここでは、答えを出すこと自体よりも、場面に合った式を立てて考えるプロセスを重視します。式がきちんと書けているかを必ず確認しましょう。また、応用問題も含まれていますので、お子さまの状況に合わせて、無理のない範囲で出題してください。

◎池に、4 羽のあひると、6 羽のかもがいます。

- ・かもは、4 羽が雌です。雄のかもは何羽でしょう。
- ・あひるは、あと何羽来ると、かもと同じ数になるでしょう。
- ・池にいるあひるより 5 羽多いあひるが、小屋にいます。小屋にいるあひるは何羽でしょう。
- ・池にいるかもよりも 3 羽少ないかもが、空を飛んでいます。飛んでいるかもは何羽でしょう。
- ・かもが何羽か飛んでいき、残りのかもは 1 羽になりました。飛んでいったかもは何羽でしょう。
- ・あひるが何羽かやって来て、あひるは全部で 9 羽になりました。やって来たあひるは何羽でしょう。